

菜の花の香

第15号

台風15号は最大瞬間風速57.9mという記録的な暴風を伴い、9月9日（月）午前5時、千葉市に上陸しました。千葉市に隣接する四街道市も9日未明より強風に見まれ、停電と建物に一部被害が発生しました。台風被害と停電中の対策をお伝えします。

9月9日（月）午前4時28分、全館停電となり、自家発電機が稼働しました。

自家発電機は、最小限の照明、ナースコール、水道水を高架水槽に汲み上げるポンプ、エレベーター1台と館内20か所の非常用コンセントに繋がっています。

まずは、在宅酸素、吸引機、エアーマットなどの介護機器を非常用コンセントに繋ぎ、入居者の皆様の安全を確保しました。

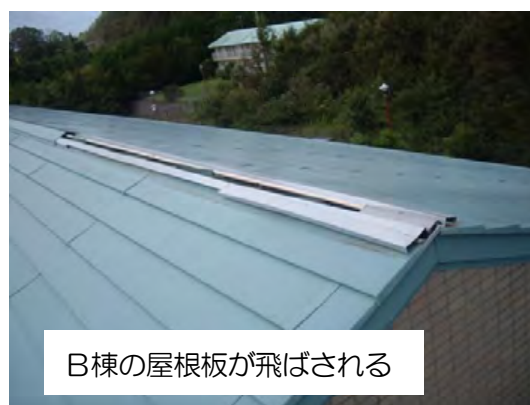
次に、窓枠に溜まった雨水が暴風で吹き込んだため、職員総出で床に溜まった雨水を処理し、滑って転倒する危険を取り除きました。

停電で厨房の調理機器も動きません。水道とガスは使用できたため、9日は非常用備蓄品を使って、朝：ロールパンと牛乳、昼：炊き込みご飯、夕：冬瓜のあんかけご飯を提供しました。四街道市内でも停電していない地域があり、食材が届いたため、翌日からは昼：サンマ丼、夜：とり丼の提供となりました。

翌10日（火）は最高気温33℃となり、冷房が使えないなか暑さ対策に追われます。スポットクーラーと大型扇風機を非常用電源で稼働させ、食堂を冷やして避難場所にしました。夜間は、ケアルーム前に扇風機を並べ、寝付けない方を受け入れました。

停電でボイラーが動かず入浴できないため、蒸しタオルを作り清拭を行いました。

<台風被害>



B棟の屋根板が飛ばされる



桃の木が真っ二つに



裏の雑木林、倒木多数

11日(水)午前7時35分、停電3日の対策を進めているところで、電気が復旧しました。入居者の皆様の「うわー!」という喜びの声と「助かった!」という安堵の顔とともに、通常の生活に戻ることができました。

幸いにも、体調不良者を出すことなく、猛暑の中、51時間を乗り切ることができました。

入居者の皆様にはご不便をおかけしました。また、ご家族や身元引受人の皆様にもご心配をおかけしました。本通信をもって報告とさせていただきます。



スポットクーラーと扇風機



51時間稼働してくれた発電機

納涼祭

8月7日(水)、納涼祭を開催しました。

熱中症対策として、初めての屋内開催となりました。当日の四街道市の最高気温は35℃、納涼祭が始まった午後5時でも33℃あり、「屋内で助かった」との声をいただいています。

屋内でやぐらが組めないため、館内のいたるところに手作りの飾りつけをして、お祭り気分を盛り上げました。

午後5時、納涼祭のスタートです。

まずは納涼祭弁当でお腹を満たします。今回は、焼きそば・たこ焼き・唐揚げ・枝豆と助六寿司のセットです。もっと食べたい方のために模擬店も出店しました。

出演は、盆踊りの「葉川流」、お囃子の「みそらお囃子の会」、よさいこいソーランの「花夢維」の皆さん。太鼓も踊りもいつも以上に迫力を感じました。

来賓として、四街道市社会福祉協議会会長、自治会区長、お隣の「まごころ館」と「まちの保育園」がお越し下さいました。ボランティアとして、地域の方と学生さんにお手伝いいただきました。



発行 千葉労災特別介護施設

〒284-0037 千葉県四街道市中台511

発行日 令和元年9月25日